

未来へはばたく君たちへ

～卒業生・修了生へ贈ることば～



竹屋 元裕 理事長・学長

人生100年時代を支える専門職に

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。皆さんは入学式の学長式辞を覚えていますか？大学とは「人生の設計図」を描く場所と述べました。設計図は出来ましたか？

日本は少子高齢化と人口減少が急激に進行し、65歳以上の高齢者割合は30%に迫り、2040年には35%に達すると推計されています。医療・介護を取り巻く環境も大きな転換期を迎えており、「治す医療」から「治し支える医療」へと変化してきました。「健康寿命の延伸」を手助けし、高齢者も生産人口として貢献することが世界の長寿国「日本」を支える鍵となります。君たちが人生100年時代を支えます。そして医療は科学であると同時に、人に寄り添う営みです。正解のない場面でも相手の声に耳を傾け、自ら考え、最善を尽くす専門職であってください。「人生の設計図」を胸に、『「生きる」をひらく かけがえのない一人』を目指して、ガンバレ！

学び続ける姿勢大切にして

多久島 寛孝 学部長

ご卒業・ご修了おめでとうございます。皆さんは努力を重ね、この日を迎えました。これから歩む新しい道では、迷うこともあるかもしれませんが、これまでのように一歩ずつ着実に努力を続ければ、必ず道は開けます。学び続ける姿勢を大切にし、なりたい自分を思い描きながら可能性を広げ、未来を切り拓いてください。私たちはこれからも皆さんを応援しています。



前田 ひとみ 研究科長

ご卒業・修了、誠にありがとうございます。卒業・修了証書は熊本保健科学大学における今までの学びと今後の人生をつなぐ、大切な証しだと思います。本学の出身者だからこそできること、本学の出身者にしかできない挑戦を通して、将来の熊本保健科学大学とともに創り上げていきましょう。皆様の輝かしい未来を心から祈念しております。

学びと人生つなぐ卒業証書



河瀬 晴夫 事務局長

“医は仁術なり。仁愛の心を以て人を救うを本とすべし”という先人の言葉のように、皆さんの本学での学びは、人を支える大きな力となります。本学で培った「知識・技術・思慮・仁愛」を糧に、自分らしく自信を持って新たな一歩を踏み出してください。事務局職員一同、これからの皆さんの活躍をあたたく応援しています。

自信を持って新たな一歩を



困難にあっても挑戦する心持って

上仲 一義 医学検査学科長

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが終わりました。私にとって最も印象深かったのは、転倒して途中棄権したアルペンスキー女子滑降の米国代表ボン選手の言葉です。これから社会に出る皆さんは多くの困難に直面すると思いますが、その時はぜひ彼女の言葉「The only failure is not trying (唯一の失敗は挑戦しないこと)」を思い起こしてほしいと思います。



原田 なをみ 助産別科長

心に金メダル掛け巣立って

今年は冬期オリンピックイヤー、この1年をオリンピック的に振り返ってみます。皆で頑張った金メダルは「化血研大賞」獲得、多くのこども達に助産師の魅力を伝えました。必死でお産に向き合った助産学実習、不安と戦い全力を尽くした国家試験、別科生全員、パーソナルベスト、金メダルです。心に金メダルをかけて誇らしく助産師として巣立って行ってね。



自分の可能性を信じて進んで

川口 辰哉 キャリア教育研修センター長

ご卒業・ご修了おめでとうございます。本学で仲間たちと過ごした日々や、医療専門資格の取得を目指して研鑽を重ねた経験は、今後の人生において間違いなく大きな力となります。これから出会う人たちや出来事を大切に、自分の可能性を信じて進んでください。皆さんのご活躍を心から応援しています。



荒尾 博美 看護学科長

多くの笑顔にする医療人に

ご卒業・修了おめでとうございます。在学期間中、講義・実習・研究で一生懸命に課題に向き合った時間や、築いてきた人間関係は、皆さんにとってかけがえのない財産です。これからはこれらの財産を上手に使って、多くの人を笑顔にする医療人に成長されることを期待しています。皆さんのご活躍を心から応援しています。



岡 順子 公衆衛生看護学専攻科長

ご卒業おめでとうございます。

2025年4月に公衆衛生看護学専攻科を開設し、第1期生として、私たち教員と共に試行錯誤を重ねながら、新たな専攻科を築きあげてくれました。皆さんの笑顔と前向きな姿勢は、私達にとって大きな励みでした。これからの未来を担う保健師として、各々の場で力を発揮されることを期待しています。皆さんの進む道が、これからも輝き続けますように。

笑顔と前向き姿勢で輝いて



立派に成長 社会での活躍に期待

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。ついに本学を巣立つ時がやってきました。入学した頃の自分と比べて、今の自分をどう思いますか？我々教職員から見ると、あどけなかった新生が、とても立派に成長されたと思います。熊保大の卒業生・修了生として社会へと大きく羽ばたき、ご活躍されることを期待しています。

田中 聡
リハビリテーション学科長



久保下 亮 理学療法学専攻長

理学療法学専攻16期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本学で過ごされた大学生活はどうでしたか？苦楽を共にした仲間たちとの別れは寂しいものがあるでしょうが、この仲間たちと経験したことは、一生の財産ですので大切にしていってくださいね！さあ、これからが本番ですよ、スポーツで例えるならウォーミングアップ終了ってところですかね。皆さんの益々の飛躍を祈念しています。

仲間との経験は一生の財産



自分を信じ 一歩一歩前進して



大塚 裕一 言語聴覚学専攻長

ご卒業・ご修了、おめでとうございます。学生生活で築いた糧は、皆さんのこれからの人生を支える確かな力となります。時には、医療人として、悩み立ち止まることもあるかもしれませんが。その時は、自分を信じて、ともに学びあった仲間を思い出して、一歩一歩前進していきましょう。皆様の歩む道が、希望に満ちたものであるよう心より応援しています。

仁 思 技 知
愛 慮 術 識

長年 勉学

4年間の思い出 未来につなげて



山野 克明 作業療法学専攻長

入学時はコロナ禍でしたが、皆さんはクラスメイトとの仲が良く、互いに助け合って困難を乗り越えてきました。皆さんの笑顔あふれる教室は教員にとっても「癒し」でした。皆さんの4年間を心の底から褒めたいと思います。思い出を未来につなげて欲しいと思います。

卒業おめでとう。皆さんのこれからに幸あらんことを願っています。



週間行事予定（3月9日～3月16日）	
3/9（月）	第2回FDセミナー
3/10（火）	「品質保証・精度管理学」共同研究講座 蛭田修特命教授 最終講義
3/14（土）	卒業式・修了式 卒業記念パーティー